

# 市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



## 久しぶりに、かのやばら園に行きました。満開のバラに迎えられるのを感じました。バラに囲まれていると「秘密の花園」に迷い込んだ様な気分になり、静かにゆったりと時を刻んでいく空間が愛おしくなります。元気が出ました。ありがとうございました。グッドタイミングでの無料開放に感謝です。(Y・Mさん・女性)

新型コロナウイルスの感染拡大により、全都道府県に「緊急事態宣言」が出され、かのやばら園でもばら祭りの中止や臨時休園など大きな影響を受けましたが、感染予防対策を強化した上で、5月11日から無料開放しています。これは、これまで市民の皆さんが高い予防意識を持ち、不要不急の外出や県外移動の自粛、3密を避ける行動に努めていただいたことへの感謝の気持ちと、不安や閉塞感を感じて生活されている皆さんに、元気なってもらいたいという思

いから企画したものです。ばら園では、これからヒマワリやコスモスなどを植栽予定です。四季折々の花々を楽しみに、ご来園ください。

## 5月号で、私の母校である鹿屋女子高が特集されており興味深かったです。建設中から近代的な外観に、どんな風になるのか、新校舎で学習できる子ども達を想像し、わくわくしていました。中の様子を写真で見ることができ、うれしかったです。またカリキュラムも面白そう。暗いニュースが多い中うれしい特集でした。(R・Fさん・女性)

5月号(No.344)で特集した鹿屋女子高については、R・Fさんと同じ卒業生や、未来の鹿屋女子高生を夢見る児童など、多くの方々からお便りをいただき、市民の皆さんが期待と関心を寄せていることが伝わりました。近代的な外観の新校舎では、学科に関係なく夢や目標に合った科目を選べる総合選択制や先進的なICT教育、専門的な実習の授業が始まっています。また、地元産の木材を活用した「NANOHANAHALL」は、講演会や学校主催のイベント会場、作品を展示するギャラリーとして市民の皆さんにも利用していただく予定です。その際はぜひご来場ください。

報かのやは家族みんな楽しみ毎に見ています。家族みんな食べる事が好きなので、市内のおいしいお店や食べ物に、つい目が止まります。でも今回は食べ物以外で目に留まったのが、マイナンバーカードの申請。ゴールデンウィーク中に申請してみようと思いましたが、これからも色々な情報を楽しみにしています。(TDK兄弟・女性)

5月号(No.344)でご紹介した「マイナンバー」は、マイナンバーカードを取得した人がキャッシュレジャーで買い物に利用できるポイントです。スマートフォンアプリや専用サイトから簡単に予約・申込ができ、利用するキャッシュレス決済サービスを選んで令和2年9月以降に買い物又は金額をチャージすると、金額の25%(上限5千円)分のポイントが付与されます。スマートフォンを持っていない方や操作が分からない方は、市商工振興課マイナポイント窓口(☎0994-311176)にお気軽にご相談ください。また、「マイナポイント」の予約・申込には、マイナンバーカードが必要ですが、まだ取得されていない方は、ぜひこの機会に申請をお願いします。

市では身体障がいや知的障がいに関する身近な相談役として、身体障がいや知的障がいがある方の保護者など10人の方に障がい者相談員を委嘱しており、6月号(No.346)でご紹介したところですが、また、精神障がいがある方の相談窓口として「肝属地区障がい者基幹相談支援センター」があり、専門的な知識や経験等に基づき、精神障がいをはじめ、身体障がいや知的障がいに関するご相談を受け付けています。詳しくは市福祉政策課(☎0994-311113)にお問合せください。



マイナンバーカード申請方法

## かのやばら園・霧島ヶ丘公園

いま旬!



## アジサイ

かのやばら園では、七変化といわれるアジサイが時間の経過とともに色を変化させ、見頃となっています。雨の日にはお気に入りの傘をさしての散策もおすすめです。